



三浦市議会だより

第 95 号
 平成21年(2009年)9月1日
 編集：議会だより編集委員会
 発行：三浦市議会
 〒238-0298
 神奈川県三浦市城山町1番1号
 ☎ 046(882)1111 内線462・463

第2回定例会

スポーツ施設に指定管理者制度導入へ

議会の新体制決まる〜正副議長初め役職を改選〜

〈議会だより第95号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
正副議長就任あいさつ	1面
監査委員の選出	1面
常任委員会における審査	2面
陳情	2面
二町谷水産加工団地対策特別委員会	3面
一般質問	3～6面
第2回臨時会	6面
決算審査特別委員会	7面
可決した意見書	7面
本会議における討論	7面
議会の活動から	7面
議員表彰、人事	7面
議会の構成	8面
議案等の審議結果	8面
次回定例会の予定	8面



姉妹都市ウォーナンブール市からの訪問に際し、議場で歓迎セレモニーを実施しました
 (両市の旗をはさみ向かって右側がネオ市長、左側がアンソン主席行政官)

定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
7月10日	金	本会議	会期の決定、議席の一部変更、議長の辞職、議長選挙、副議長の辞職、副議長選挙、常任委員の選任及び所属変更、議長の常任委員の辞任、議会運営委員及び財政健全化対策特別委員の選任、監査委員の選任、議案の審議(説明・委員会付託)
		総務経済常任委員会	議案の審査
13日	月	本会議	議案の審議(総務経済委員長報告・採決)、一般質問
14日	火	本会議	一般質問
15日	水	本会議	一般質問、議案の審議(説明・質疑・委員会付託)、決算審査特別委員会の設置並びに委員及び正副委員長の選任
		決算審査特別委員会	議案の審査
16日	木	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
17日	金	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
21日	火	二町谷水産加工団地対策特別委員会	二町谷水産加工団地対策に関する審査
		財政健全化対策特別委員会	財政健全化対策に関する審査
23日	木	本会議	議案の審議(総務経済・都市厚生の委員長報告・討論・採決)、追加議案の審議(説明・採決)、二町谷水産加工団地対策に関する審査について、意見書案、人事案件(副市長)、閉会中継審査申し出、報告

平成二十一年第二回定例会は、七月十日から二十三日までの十四日間を会期として開かれ、議案等の審議のほか、正副議長を初め、各委員の改選を行いました。

今定例会において、二町谷水産加工団地対策特別委員会が審査を終え、最終日の本会議で審査結果が報告されました。また、第二回臨時会が五月二十八日に開かれました。(記事六面)

就任のあいさつ



北川年一副議長



中谷博厚議長

市民の皆様には日頃から市議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私たちは、去る七月の市議会におきまして、議長並びに副議長に就任いたしました。

さて、我が国を覆う深刻な経済状況のもと、本市の財政運営も依然として厳しい状態が続いており、地域経済の活性化や都市基盤の整備、防災対策、少子・高齢社会への取り組み、教育施策の充実等、重要課題が山積しております。

このような状況の中で、行政との連携を図りつつ、行政のチェックを行うのが議会の役割であると認識しております。

今後とも、市民の皆様方の期待に応えられるよう努力してまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

監査委員(議会選出)に
四宮 洋二 議員

このたびの役職改選に伴い、定例会初日に、議会選出の監査委員を新たに選任する議案が市長より提出されました。

本会議では全会一致で原案のとおり同意することに決し、その結果、四宮洋二議員が七月十日付で監査委員に就任しました。

常任委員会

議案の審査概要

総務経済

七月十日の審査

◎平成二十一年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第三号)

(質疑の主な項目)

・三浦市超低温魚市場冷蔵庫の復旧工事の概要について

・工事発注における市内業者への配慮について
 ・工事期間における工事車両と市場関係車両の動線について
 ・火災保険金について

(委員からの意見)

・今回の火災を教訓にして、地震などの災害発生に備え、市内に冷凍マグロの保管場所がなくなった場合の対応策を検討していく必要がある。

七月十六日の審査

◎平成二十一年度三浦市一般会計補正予算(第二号)

(質疑の主な項目)

・国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金により実施する事業(市内小中学校への地上デジタル放送対応テレビの整備、新型インフルエンザ対策、DV被害者への定額給金等相当額の給付、みうら夜市

事業、職員研修事業ほか)について

・学校給食事業での機材の貸し付けによる収入と、委託費の支出について

(委員からの意見)

・みうら夜市事業の企画検討において、地元の見解を集約することがやや欠けていたという

都市厚生

◎三浦市体育館条例

◎三浦市水泳プール条例

◎三浦市都市公園条例の一部を改正する条例

以上三件は、スポーツ施設への指定管理者制度導入に関係するものであり、一括して審査を行いました。

(質疑の主な項目)
 ・指定管理者制度の導入に係る今後のスケジュールについて
 ・指定管理者が行う業務の範囲と指定管理者の選定基準について
 ・指定管理者の賠償責任について

(委員からの意見)
 ・指定管理者の導入に当たっては、民間企業が施設管理を行うメリットを生かし、市民サービスの向上という観点

点については、市長が常に「民間事業者と協働して事業に着手したい」と言っていることから、十分に反省し、ぜひ、この事業を成功させていきたい。

・市が購入する学校給食の機材を指定管理者に貸し付け、その貸付収入と同じ額が指定管理者に委託費として支出されるのは、機材を指定管理者がただで使用するということになり、納得できない。

でスポーツ振興に取り組んでいただきたい。

・民間企業は利益を考えるため、本場にスポーツ振興の立場に立てるのか、市民の声が反映されるのか疑問である。

◎三浦市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例
 (質疑の主な項目)
 ・今回の条例改正に至る要因について

◎三浦市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例
 (質疑は特にありませんでした)

◎工事委託協定の締結について
 (質疑の主な項目)
 ・増設される汚泥処理施設の処理能力について
 ・今後、公共下水道の整備を予定する地域について

◎三浦市都市公園条例の一部を改正する条例
 (質疑は特にありませんでした)

常任委員会での陳情の審査結果

7月定例会では、新たに提出された陳情及び継続審査中の陳情、あわせて50件を審査しました。

今回、結果の出た陳情、取り下げを承認、審議未了となった陳情は、次のとおりです。そのほかの33件は、引き続き審査を行います。

所管委員会	件名	結果
都市厚生	「肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書」の採択を求める陳情	了承できるもの
	国と神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	〃
	陳情書(有料老人ホームの整備計画について)	了承できないもの
	陳情書([プロバスト三浦計画] 臨海部計画におけるマリナ沖への防波堤建設、テトラポット投入計画の抜本的な見直しを要望する)	取り下げ承認
	陳情書(三浦市初声地区入江の大開発計画[プロバスト三浦計画]について要望)	〃
	「(仮称)三浦市三戸地区発生土処分場建設事業」に関する意見書の提出を求める陳情	〃
	京浜急行の超高層マンション計画に対する陳情	審議未了
	京浜急行電鉄株式会社の三浦海岸駅周辺開発事業に伴う、マンションの建設計画に対し却下を求める陳情書	〃
	京浜急行の超高層マンション計画に対する陳情書	〃
	学校給食の民間委託に反対し、直営の存続を求める陳情書	〃
	京浜急行の超高層マンション計画に対する陳情書	〃
	京浜急行の超高層マンション計画に対する陳情書	〃
	三浦市の給食事業を全て民間委託へ速やかに移行する措置を求める陳情書	〃
	平成21年4月からの学校給食の民間委託計画の撤回を求める陳情書	〃
	「まちづくり条例」制定を求める陳情書	〃
	「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例(仮称)」についての陳情	〃
「気候保護法(仮称)」の制定を求める意見書の提出についての陳情	〃	

新たに提出された陳情

◎陳情書(有料老人ホームの整備計画について)

趣旨 本陳情は、高齢者入居施設の整備計画を見直し、陳情者の計画する有料老人ホーム建設に床数を配分することを求めています。

◎国と神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

趣旨 本陳情は、私学助成の拡充を求める意見書を国及び神奈川県に提出することを求めています。

◎物価上昇に見合う年金引き上げの陳情

趣旨 本陳情は、国に対し、①直ちに年金を3%引き上げることで、②年金月額八万円に満たない者には生活支援金を上乘せして支給することを求める意見書の提出を求めています。

◎「肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書」の採択を求める陳情

趣旨 本陳情は、肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書を国に提出することを求めています。



三浦市議会のホームページでは、議会の日程や議員名簿、本会議・委員会の会議録などがご覧いただけます。

<http://www.city.miura.kanagawa.jp/>から「三浦市議会」へ

二町谷水産加工団地対策 特別委員会

二町谷水産加工団地対策特別委員会は、平成十九年五月に設置され、二町谷流通加工業務団地造成事業に関連する諸課題について審査を行ってきました。

今定例会で審査を終え、岩野匡史委員長より審査報告が行われましたので、この概要を掲載します。

▼まず、委員会設置当初に重点的に議論がされた、汚水排水処理施設に関する事です。

施設建設に向けては、西南部公共下水道事業計画との整合性や、加

入料・使用料等についての議論がありました。施設建設に入ってから

は工期の延長等もありましたが、平成二十年

五月に日量最大五百立方メートルの処理能力を持つ

汚水排水処理施設が完成しました。完成後には、施設の

備についての議論があり、その後、売却が進

まない中では、土地利用の規制がある中での

立地促進や、土地価格についての議論が交わ

されました。委員からは、売却価

格の引き下げを早期に実現できるように、市の

決断が求められました。▼次に、二町谷地区へ

の企業誘致に関する重要な課題です。

当初は、企業等立地促進条例の改正や、イ

ンベスト神奈川と企業立地促進法との関連な

どについての議論がありました。その後、市が県の企

業誘致促進協議会に参加し、現地案

内会や農林水産省による視

察が行われ、この経過と開催後の企業誘致活動について

を先頭に、積極的に企業誘致のアクションを

起こすよう、要望が述べられました。▼そのほか、財政計画

の見直しや、三崎漁港「魅力あるみなとづく

り」委員会の開催結果等についての議論が交

わされました。▼二町谷地区についての諸課題は継続して議

論すべきものですが、現在、市議会には「財

政健全化対策特別委員会」が設置されており、

当地区に関する議論も、ここに集約されるもの

と考えます。したがって、今般ま

での議論で一定度の成果が得られたものとして、委員会の審査を終

了しました。

委員からは、市長、副市長



一般質問 ~質問と答弁の要旨~

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずくことをいいます。今定例会では、12人の議員が市政運営について市側の考えをたずきました。

スクール・ニューディール構想

がん検診、新型インフルエンザ

公明党 藤田 昇

※は欄外に説明を記載

国は、経済対策として「スクール・ニューディール」構想を提唱し、二十一世紀の学校にふさわしい教育環境の充実を図ることとした。

安全・安心で環境に優しい学校づくりは、児童・生徒だけではなく地

域や社会全体にとっても重要なことと考えるが、

市の取り組み方針は。市長 今議会に提案した

補正予算は、多くを「スクール・ニューディール」

構想に関する事業に充て

ており、未来を担う子供たちの学校環境向上の重要性は強く認識している。

市では今回の補正により、児童・生徒用パソコン等の整備による情報通信技術環境の向上や、ガラス飛散防止フィルム

の張りつけ工事による耐震化の早期実現などを予定している。

受診率向上対策は

質問 国の補正予算に基づき、女性特有のがん検

診推進事業が各地で始まっている。

この機会を利用して、多くの方ががん検診を受

けていただくよう、さまざまな対策をとる必要があるが、市長の考えは。

市長 医療機関や他の自治体と調整を図り、受診しやすい環境づくりに努めていきたい。

また、受診の働きかけを積極的に行い、この機会に受診してもらえような施策を展開したい。

感染予防策

質問 新型インフルエ

ンザは、今後、秋から冬にかけて

第二波、第三波の流行

が予測されている。

第二波以降の予防策を、今後発生が予想される鳥インフルエンザへの対応とあわせて伺いたい。

市長 強毒性への突然変異等に備え、感染予防策の備品の備蓄を考えている。

さまざまな事態を想定し、関係機関との連携を図るとともに、庁内体制を強化して取り組みたい。



耐震補強工事が進む剣崎小

開発公社解散への課題

不法投棄の防止策は

無所属 石原 正宣

※は欄外に説明を記載

質問 三浦市土地開発公社の解散には、公社の負債を清算することが不可

欠である。市長は、第三セクター

等改革推進債を活用して、市が負債の肩代わりをす

る方針を打ち出したが、次の大きな課題がある。

行政の考えは。①二町谷埋立造成資金

としての借入金のうち、約三十億円の未償還金に

は推進債は適用できない。どう財源を捻出するか。

②西南部公共下水道用

地を推進債の活用により買上げる場合、従来の国庫補助金での買い上げ計画と整合性は図れるのか。

③公社保有地のうち、代替用地としての農地(簿価で約十億円相当)

は、公払法などの縛りでの市の買い取りは不可能である。この対処は。

市長 未来にツケを残さないために、土地開発公社の解散に着手することを決断した。

平成二十五年度までの時限措置である推進債を活用することが必須の事項だが、当然、指摘いただいた課題への対処も必

要である。推進債が活用できない場合は、一般的な起債措置について、神奈川県との折衝も必要になる。

不法投棄への対応

質問 市内における大規模なごみの不法投

棄場所は約二十カ所ある。

廃プラ、家具類、野菜残さなど総投

棄量は約百トンで、撤去、処分には多

額の費用を要するが、現在とり得る

対応策は。

環境部長 県政総合センターと定期的なパトロールを



不法投棄は犯罪です

※「スクール・ニューディール」構想……学校の耐震化、エコ改修、情報通信技術環境の整備等を一体的に推進すること。構想の推進による地域経済への波及効果、地域の活性化が期待されている。
※公払法……公有地の拡大の推進に関する法律

市政執行の姿勢は

海水浴場、市道654-1号線
みうら市政会 出口 眞琴

いった、いわゆる民間人としての感覚を忘れないということである。

県に設置される検討会に参画して課題の認識や共有化を図るとともに、三浦地区海水浴場対策協議会の中でも協議をしていきたい。

れず、当該市道の先に公園があるなど、整備の必要性が全くないとは考えていない。
今後、整備事業を行う場合は、地元関係者に説明し、理解を得ながら進めていくことになる。

市道整備の考えは
三月定例会で市長は、小網代地区の市道六百五十四-1号線の道路整備について、現在の環境のもとで事業の具現化は困難であると答弁した。

今の時点での、市長の考えを伺いたい。
市長 現状が安全であるとは言いき

このことについて、本市の対応は。
市長 本市では、新基準により要介護度が変わった場合でも、希望する人には従前の要介護度を適用している。
今後、適正な介護認定を行い、その方に真に必要なサービスを提供できるように努めてまいります。

市道整備の考えは
三月定例会で市長は、小網代地区の市道六百五十四-1号線の道路整備について、現在の環境のもとで事業の具現化は困難であると答弁した。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

ごみ処理広域化計画

議員定数の削減
フォーラムみうら 宮崎 敏一

参加を望む可能性があると考える。
葉山町の参加は、三浦市にとつても負担の軽減につながるが、受け入れの可能性はあるのか。

市長 葉山町の二市一町ごみ処理広域化計画からの脱退に対しては、横須賀市とともに損害賠償請求裁判を起し、現在、係争中である。
裁判の推移を見きわめ、横須賀市と連携をとって判断をしていきたいが、現状では葉山町の復帰の可能性はないと判断している。

定数削減に対する見解は
三浦市の議員定数は、過去四回にわたり削減され、平成十五年四月から現在の十八人となっている。
三浦市は、他市に先んじて議員定数の削減に取り組んできたと聞く。人口の減少、市民からの削減を求める声を踏まえ、少なくとも二名の削減が必要と考えるが、市長の見解を伺いたい。

市長 過去四回にわたる議員定数の削減は、いずれも議

市長 過去四回にわたる議員定数の削減は、いずれも議

市長 過去四回にわたる議員定数の削減は、いずれも議

市長 過去四回にわたる議員定数の削減は、いずれも議

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

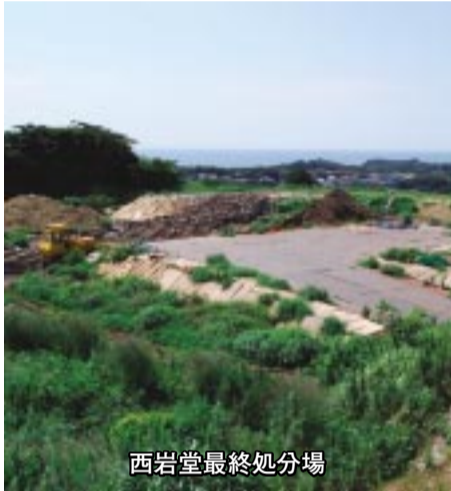
市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。

市長は、平成十七年六月に就任以来、シンブル・スピード・サービスの「3つのS」を提唱して職員の意識改革に取り組み、市民本位の行政改革を進めてきた。



多くの海水浴客が訪れる三浦海岸



西岩堂最終処分場



天井に設置された火災警報器



総務大臣賞を受賞(中央が吉田市長)

農業での新たな取り組み

農業後継者、三戸地区の開発
みうら市政会 草間 道治
※は欄外に説明を記載

質問 安全・安心な農産物の生産のため、生産者が農業生産の工程を自主管理する「GAP手法」が、全国で導入され始めている。

市長 この手法の導入により、安全な農作物を求める消費者の声にこたえられることや、取り組みのPRによって産地の評価が上がることを期待している。

空き畑の活用

質問 市では、休耕地を利用しクリーニングクロップの栽培を行う農業者に助成を行っているが、どのような状況か。

市長 この事業は、環境保全型農業を目指すとともに、空き畑から土砂の流失防止等を目的に実施している。今年度は約六十五ヘクタールの補助の申請があったが、来年度は、さらなる普及拡大に努めていきたい。

質問 三戸地区発生土処分場の建設



休耕地に植えられたクリーニングクロップ

は、経済活性化、人口誘致策として重要であると考えるが、市長の考えは。
市長 発生土処分場の建設は、三戸地区宅地開発の基盤整備に寄与する準備事業として、その早期完成に期待している。

特性を生かした温暖化対策

三戸地区発生土処分場
日本共産党 石橋 むつみ

質問 地球温暖化による気候変動が世界各地で発生しており、日本でも、真夏日の増加や記録的な集中豪雨などにより、日常の生活や安全、農林水産業等に影響を及ぼしている。

市長 地球温暖化対策として、温室効果ガス削減の目標などを定めた計画の策定や、市民への啓発活動等を行っているが、市の特性を生かした対策を考えていただきたい。

市長 地球温暖化対策にはさまざまな手法があるが、その中でも太陽光発電は、

騒音や振動の発生もなく、日照条件のよい本市にとって、導入を促進する条件が整っている。住宅用太陽光発電システムの設置に対しては、国・県の補助制度に合わせ、本市でも補助制度を設けたところであり、当面は太陽光発電の普及促進を積極的に推進していきたい。

事業実施の理由 三戸・小網代地区については、平成七年に

神奈川県から土地利用に関する基本方針が示され、その後、小網代の森の保全、農地造成としての県営ほ場整備事業等が進められてきた。

市長 発生土処分場の建設は、三戸地区における土地区画整理事業を早期に完成するため準備事業として位置づけている。



太陽光発電 (三浦臨海高校)

今後は、事業実施に向けた諸条件の検討をしていく予定である。土地区画整理事業の早期実施は、西海岸線道路の築造、鉄道の延伸とあわせて、本市の経済活性化、人口誘致等に必要不可欠であり、市としても事業の推進を図ることを決めている。

土づくりは三浦農業の命

共同研究の早期実現を
みうら市政会 松原 敬司

質問 三浦市は露地野菜産地としてのブランドを確立してきたが、今日、産地間競争や、肥料コスト削減による農業経営の確立、環境農業の確立などの課題に対処していかなければならない。

市長 環境農業へ転換するためには、微生物が活発に働く土壌づくりに取り組むことが急務となる。市は、新しい技術による樹木の堆肥化と樹木堆肥の投入による土壌改良について、発案事業者と

ともに共同研究を行ってはどうか。

市長 環境保全型の農業を基本目標に、化学肥料や農薬の適正使用、節減をし、安心・安全な農作物の提供に取り組むことが、三浦市が産地間競争に打ち勝つ一つであると考えている。

行政の姿勢 以前、三浦市議会では、短期間で堆肥化が

でき、膨大な土地も必要としない樹木堆肥化の工程を視察した。

市長 共同研究の実施時期は約束できないが、これまでも廃棄物担当と検討を重ねてきているので、ご理解を賜りたい。



三浦の野菜を育てる畑

情報発信のできる町に販売を共同研究により積み上げていけば、この積み上げ自体が情報発信となり、経済振興策になる。

意見 土づくりと生育、販売を共同研究により積み上げていけば、この積み上げ自体が情報発信となり、経済振興策になる。情報発信は誘客の一端であり、情報発信ができる都市をつくるという考え方で取り組んでいただきたい。

トリプルPの取り組み

みうら夜市、任用がえ後の状況
みうら市政会 神田 眞弓

質問 三月議会では、福祉と教育の連携に関連して、子供の行動・情緒問題の予防と治療を目的につくられたトリプルPの導入について質問した。

市長 子育てにかかわる人材育成の観点から、トリプルPの導入には非常に興味がある。現時点では具体的な方向性を示せないが、福祉と教育の連

質問 みうら夜市について三崎下町商店街の関係者に話を伺うと、開催を疑問視する声が多いように感じる。

市長 みうら夜市は、市民との協働なくしては成り立たないイベントである。関係者への説明のお願いなどご心配をかけていることは大きな反省

質問 学校の近況

市長 任用がえを



多数の来遊客でにぎわうみうら夜市

研修会を開催し、それぞれの現況を報告し合うなど、任用がえ後のサポートを行っている。初めはかたかった表情も最近では和んできており、十分力を発揮していると感じる。

※クリーニングクロップ……土壌に過剰に集積した肥料成分等の吸収を目的に栽培される作物

温暖化対策とシティ・セールス

市境への看板設置

フォーラムみうら 北川 年一

て、市職員の夏服をつくる事ができないか。

職員のアロハシャツの着用を推奨している自治体があり、一定のセールス効果があると聞いている。

CO₂削減を全庁的に取り組むための今後の参

市境近くにある潮風アリーナと上宮田児童会館に「ようこそ三浦市へ」と表示した歓迎サインを設置しているが、余り目立っていないという評価を

観光地として当然必要であると認識しているの

で、ご意見を参考に取

組みたい。

来遊客への印象づけ

質問 来遊客の記憶に潜在的に三浦市が定着する

よう、「よ

うこそ三浦

へ」「また

三浦にお越

しくださ

い」と、目

立つ形で市

境に看板を

設置しては

どうか。

市長 現在、

質問 クールビズが定着しつつあるが、その程度では追いつかないかのよう

に温室効果ガス削減が国際政治の場で熱く論じ

られ、国内でも温暖化対策を意識した行政が求め

られている。

①六月から九月まで、

市役所本館と分館のエアコンを停止した場合に、

削減できるCO₂排出量はどのくらいか。

②市役所の夏のエアコンをとめることと、シティ・セールスを目的とし

環境部長 ①エアコンの使用期間における電気使用量の平均値と、使用しない月の差からCO₂排出量を算定すると、一月当たり約五千六百二十

キログラムになる。

市長 ②来庁される市民の健康管理や、職員の仕事の効率性等を考慮すると、エアコンの全面停止は難しいと考えている。

服装については、夏に

全部適用は、経営改善の最後の手段として給与比率を下げる必要性を考え、実施するものである。

職員のモチベーションを維持または高めるため、頑張る職員に手厚く分配する仕組み等を考えたい。

市内業者への発注

質問 現在、予定

価格が百三十万円

を超える工事は電子入札が行われて

積極的な産業政策を

市立病院、景気対策

日本共産党 小林 直樹

いくことが産業構造の転換につながる

と考えている。

全部適用は、経営改善の最後の手段として給与比率を下げる必要性を考

え、実施するものである。

職員のモチベーションを維持または高めるため、

頑張る職員に手厚く分配する仕組み等を考えたい。

市立病院改革

質問 三浦市が財政危機を招いた原因として、市

が産業構造の転換を積極的に誘導してこなかった

ことが挙げられている。

今後、地域経済の活性化に向け、どのような産業政策を行うのか。

市長 第4次総合計画において、六次経済(一次、

二次、三次産業が連携して相乗効果を出す)の構築を提案している。

地場産業を基礎に、それぞれの産業の発展に寄

与するような連携をして

市立病院では、経営形態を見直し、平成二十二年

度から地方公営企業法を全部適用する。

経営責任者の権限と責任が明確になる一方で、

行政施策が反映しにくくなること、給料減少の不安から職員のモチベーシ

ョンが下がること等が指摘されている。

これらのデメリットへの対応は、

全部適用に移行しても市職員の身分は変わ

り、行政施策は今までも

行政管理者 二

十年度の市内業者

の受注割合は、前

年度に比べて増加して

おり、受注が難しくな

ったとは考えていない。

今後、市内業者で施

工が可能な案件は市内業者へ発注することを基本

に、適正に参加条件を設定していき

たい。

市長 現在、予定

価格が百三十万円

を超える工事は電子入札が行われて

いる。小さな工事でも電子入札とな

り、市内業者は受注しにくいのでは

ないか。

行政管理者 二

十年度の市内業者

の受注割合は、前

年度に比べて増加して

おり、受注が難しくな

ったとは考えていない。

今後、市内業者で施

工が可能な案件は市内業者へ発注することを基本

に、適正に参加条件を設定していき

たい。

市長 現在、予定

価格が百三十万円

を超える工事は電子入札が行われて

いる。小さな工事でも電子入札とな

り、市内業者は受注しにくいのでは

ないか。

行政管理者 二

十年度の市内業者

の受注割合は、前

年度に比べて増加して

おり、受注が難しくな

ったとは考えていない。

今後、市内業者で施

工が可能な案件は市内業者へ発注することを基本

に、適正に参加条件を設定していき

たい。

市長 現在、予定

価格が百三十万円

を超える工事は電子入札が行われて

いる。小さな工事でも電子入札とな

り、市内業者は受注しにくいのでは

ないか。

第二回臨時議会

平成二十一年第二回臨時議会は、五月二十八日に会期一日で開かれ、市長提出の議案八件を審議し、

いずれも可決しました。

また、議員より提出された「北朝鮮の核実験実施に抗議する決議」を急

施事件と認定し、審議の結果、全会一致で可決しました。

総務経済

◎専決処分の承認を求め

ることに(市税条例の改正)

(質疑は特にありません)

◎専決処分の承認を求め

ることに(一般会計補正予算)

◎専決処分の承認を求め

ることに(市場事業特別会計補正予算)

以上二件は、火災で焼

損した三浦市超低温魚市場冷蔵庫の復旧事業に係

るものであり、一括議題として審査を行いました。

(質疑の主な項目)

・今回の補正予算により

行われた業務委託の内容

容について

・補正の財源とした財政

調整基金の残高について

可決した決議

北朝鮮の核実験実施に抗議する決議

去る5月25日に北朝鮮が地下核実験を実施したと発表した。

北朝鮮が、全ての核兵器及び既存の核計画を放棄することを求めた国連安全保障理事会の決議にもかかわらず核実験を強行したことは、日本を含む北東アジア地域全体の平和と安全に対する直接の脅威であると同時に、核軍縮と世界恒久平和の実現を目指す国際社会に対する重大な挑戦であり、断じて許すことはできない。

我が国は世界唯一の核被爆国であり、1954年にアメリカのビキニ環礁での水爆実験により大きな被害を受けた経験を持つ本市は、非核三原則の完全な遵守を求め、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を願ひ「核兵器廃絶平和都市」であることを宣言している。

よって、北朝鮮の地下核実験に対し強く抗議の意を表すとともに、日本政府が国際社会と協調し、北朝鮮に対して全ての核兵器及び核計画の放棄を求めるための断固たる措置をとることを強く求める。

〈提出先〉 内閣総理大臣 外務大臣



歓迎サイン(上宮田児童会館)



地域医療を支える市立病院

決算審査特別委員会

決算審査特別委員

委員長	出口 眞琴
副委員長	高橋 洋文
委員	神田 眞弓 藤田 昇 松原 敬司 草間 道治 小林 直樹 原田 雅一

七月十五日の本会議において、八人の委員で構成する「平成二十年度三浦市決算審査特別委員会」が設置され、公営企業会計の決算議案（病院・水道）が付託されました。

同日に開かれた委員会では、両議案について閉会中の継続審査とすることに決しました。継続審査とした二議案は、九月定例会に提出される一般会計及び特別会計の決算議案七件とあわせて審査をしていくこととなります。

なお、公営企業会計決算については、地方公営企業法で「当該事業年度終了後三月を経過した後において最初に招集される議会の認定に付さなければならぬ」と規定されています。

本年は、三浦市長選挙、三浦市議会議員補欠選挙が六月に行われたため、定例会が例年より一月遅い七月に開かれることになりました。したがって、事業年度の終了後三月を経過した今定例会に提出がされたものです。

可決した意見書(概要)

肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書

我が国のB型・C型ウイルス肝炎患者・感染者数は350万人以上と推定され、国内最大の感染症として抜本的対策が求められている。

国は、平成20年度から「肝炎治療7か年計画」をスタートしたが、法律の裏づけがない予算措置であるため、実施主体である都道府県によって施策に格差が生じている。

適切なウイルス肝炎対策を全国的規模で推進するためには、肝炎対策に係る基本理念や、国や地方公共団体の責務を定めた基本法・根拠法の制定が必要である。

よって、国は肝炎対策のための基本法を早期に制定するよう、強く要望する。

〈提出先〉 内閣総理大臣、厚生労働大臣

私学助成制度の拡充を求める意見書

神奈川県の子園児・児童・生徒への1人当たりの私学助成額は全国最低水準であり、保護者の経済的負担から入学を断念したり、退学せざるを得ない状況が起きている。

このような中、神奈川県は平成21年度予算で私学経常経費補助を削減している。

よって、国及び県は次の事項を実現するよう強く要望する。

- 1 私学助成国庫補助金の増額を図ること。
- 2 平成21年度補正予算と平成22年度予算で私学助成の拡充を図ること。

〈提出先〉 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、神奈川県知事

本会議における討論

～ 議案第42号 三浦市体育館条例 ～

反対討論 日本共産党 石橋むつみ議員

本議会には、市体育館、市水泳プール、三浦スポーツ公園などの施設管理を、経費削減、管理の効率化を口実に指定管理者制度にする議案が出されている。選定の基準として「住民の平等利用」「条例の遵守」などがうたわれているが、運営などを市民や議会がチェックする仕組みが明らかではない。また、市がスポーツ振興をどう図るのか、市民活動の拠点として施設をどう生かすのかが見えない。しかも今回は、特徴と歴史ある幾つかの施設を一体で行おうとしている。身近に顔が見えるところで担当職員が、地域・市民との接点を培い、市民の健康づくり、コミュニケーション形成、社会教育・文化・スポーツの拠点としての役割を担ってきた、その経験が生かされる保証もない。運営実績が未定の施設も含め、無理に一括でスタートを切るようでは、スポーツ施策や社会教育の市民活動サポートが進むかどうか疑問であり、施設に求められる専門性や継続性、安定性が制約されることも明らかである。よって、本議案に反対する。

本年四月から、三浦市では市内小中学校の給食調理業務を民間業者に委託しています。三浦市議会では、七月十六日に十七人の議員が三崎学校給食共同調理場を訪問し、委託業務についての説明を受けるとともに、給食の試食を行いました。調理場では、給食調理場より委託業務の概



議会の活動から
学校給食の試食を
してきました

要が、栄養士からは献立についての説明がありました。
(写真) 三崎調理場の一室にて。壁には、児童から贈られた絵が飾ってありました。

議員表彰

このたび、次の議員が
全国市議会議長会より表
彰を受けました。

- ・ 議員在職三十五年
岩野 匡史 議員
- ・ 議員在職十五年
土田 成明 議員
- ・ 議員在職十年
石橋 むつみ 議員
- ・ 議員
立本 眞須美 議員
- ・ 議員
中谷 博厚 議員
- ・ 議員
原田 雅一 議員
- ・ 議員
北川 年一 議員

人事

七月二十五日をもって任期満了となる副市長について、現在の杉山副市長を引き続き選任するための議案が提出され、原案のとおり同意することに決しました。

副市長
杉山 実氏



委員会等の構成

現在の委員会の構成について名簿を掲載します。(◎は委員長 ○は副委員長)

常任委員会

総務経済

◎岩野史	◎宮野二	◎石崎一	◎高橋宣	◎高橋文	◎草野治	◎佐瀬喜代志	◎小川直樹
------	------	------	------	------	------	--------	-------

特別委員会

財政健全化対策

◎岩野史	◎宮野二	◎石崎一	◎高橋文	◎高橋洋	◎草野治	◎佐瀬喜代志	◎小川直樹
------	------	------	------	------	------	--------	-------

都市厚生

◎松原敬司	◎石橋真琴	◎神田真弓	◎藤本真美	◎立本真美	◎土田雅一	◎北原年一
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

議会運営委員会

◎草間道治	◎高橋洋文	◎宮崎敏一	◎神田真弓	◎出田真琴	◎藤本真美	◎立本真美	◎原田雅一
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

補欠選挙

宮崎敏一氏が当選



六月二十一日、三浦市長選挙とともに三浦市議会議員補欠選挙が行われ、宮崎敏一氏(南下浦町上宮田)が当選しました。なお、現在の議員定数は十八人です。

会派構成

六月二十三日付をもってフォーラムみうらの会派構成に変更がありました。変更後の会派構成は次のとおりです。(☆は代表者)

みうら市政会

☆岩野史	☆神田真弓	☆出田真琴	☆山口厚	☆中谷博	☆草間道治	☆土田成明
------	-------	-------	------	------	-------	-------

公明党

☆佐瀬喜代志	☆藤田昇
--------	------

日本共産党

☆小林直樹	☆石橋むつみ	☆立本真美
-------	--------	-------

フォーラムみうら

☆四宮洋二	☆宮崎敏一	☆高橋洋文	☆高橋洋一	☆松原敬司	☆北原年一
-------	-------	-------	-------	-------	-------

無所属

☆石原正宣

(会派に属さない議員)



本会議場における議員

本会議での議案等の審議結果 (第2回臨時会・第2回定例会)

番号	件名	議決状況	
議案第33号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第34号	専決処分の承認を求めることについて	〃	〃
議案第35号	専決処分の承認を求めることについて	〃	〃
議案第36号	専決処分の承認を求めることについて	〃	〃
議案第37号	三浦市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	〃
議案第38号	三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第39号	三浦市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第40号	平成21年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第2号)	〃	〃
議案第41号	平成21年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第3号)	〃	〃
議案第42号	三浦市体育館条例	〃	賛成多数
議案第43号	三浦市水泳プール条例	〃	〃
議案第44号	三浦市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第45号	三浦市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例	〃	全会一致
議案第46号	三浦市都市公園条例の一部を改正する条例	〃	賛成多数
議案第47号	工事委託協定の締結について	〃	全会一致
議案第50号	平成21年度三浦市一般会計補正予算(第2号)	〃	賛成多数
議案第51号	平成21年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	〃	全会一致
議案第52号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	〃
議案第53号	工事請負契約の締結について	原案可決	〃
議案第54号	副市長の選任につき同意を求めることについて	原案同意	〃
意見書案第3号	肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書	原案可決	〃
意見書案第4号	私学助成の拡充を求める意見書	〃	〃
決議案第2号	北朝鮮の核実験実施に抗議する決議	〃	〃
報告第3号	専決処分の報告について	報告	—
報告第4号	専決処分の報告について	〃	—
報告第5号	平成20年度三浦市一般会計繰越明許費繰越計算書	〃	—
報告第6号	平成20年度三浦市一般会計事故繰越し繰越計算書	〃	—
報告第7号	平成20年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計繰越明許費繰越計算書	〃	—
報告第8号	平成20年度三浦市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	〃	—
報告第9号	平成20年度三浦市水道事業会計予算繰越計算書	〃	—
報告第10号	三浦市土地開発公社の決算及び事業計画について	〃	—
報告第11号	財団法人三浦市中小企業振興公社の決算及び事業計画について	〃	—
報告第12号	三浦地域資源ユーズ株式会社の決算及び事業計画について	〃	—
報告第13号	専決処分の報告について	〃	—

議会を傍聴しませんか

平成21年第3回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月日	曜日	会議名等
9月1日	火	招集告示
3日	木	議会運営委員会(日程・審査方法等決定)
8日	火	本会議(一般質問)
9日	水	
10日	木	
11日	金	
14日	月	都市厚生常任委員会
16日	水	決算審査特別委員会
17日	木	
18日	金	
24日	木	
25日	金	
28日	月	財政健全化対策特別委員会
10月1日	木	本会議(委員長報告・採決)

◆お問い合わせは議会事務局へ

電話 046-882-1111 内線462・463

※請願・陳情の提出期限は9月2日(水)です。

議会だより編集委員会

このたびの役職改選により、議会だより編集委員に選任されました。市民の皆様に親しまれ、読みやすい紙面を目指して編集してまいります。ご意見等がございましたら、編集委員会までお寄せください。

◎中谷博厚	◎石橋真一	◎神田真美	◎藤本真美	◎高橋洋文
-------	-------	-------	-------	-------